![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　平成３０年７月号（20180720）

園長　平澤　正則

保護者アンケート集計結果考察

　皆様のご協力ありがとうございました。詳細は別紙にてお配りした通りですのでご覧ください。

調査結果の一つ一つをよく検討，吟味し今後の教育・保育に生かしたいと考えます。

ここでは園長として今後特に留意すべきと考えたこと６点について述べます。

１　園内の情報が伝わりにくくなっているとの指摘が最も気になりました。今年から週報をなくし月報に替えたのは週報作成者の負担軽減という狙いもあったのですが，それが意思疎通に悪影響を及ぼしたとすれば本末転倒といえますので検討を要すると思います。園児個人の情報については連絡帳を通してのやりとりをさらに充実させたいと思います。迎組とバス組間の連絡密度の差については引き続きできるだけの配慮をしていきたいと思います。気配り・眼配りに重きをおいているつもりではありますが，少しでも不安を感じた際にはぜひ担任の先生や話しやすいと思う先生にご連絡をいただけると幸いです。

２　運動会のあり方について，『鼓笛隊，バルーン，組体操がなくなりさびしい。』という意見がありました。今年から６月という年度の早い時期の運動会となり，園児たちが覚えられるだろうかという指導者側の危機感により“見せるもの”が一度になくなってしまいました。再検討したいと思います。

３　『父の日・母の日の絵画』については作品数が多く，これも以前から課題と捉えていたものですので，見直す必要を後押しされた気がします。掲示してもらう店数を減らす，または出品を分散させるなど方法を考えたいと思います。

４　園外行事，体験的行事への肯定意見がみられほっとしています。特に，食育として行っている野菜の栽培については楽しみととらえていただいていることはうれしく思います。大げさにいえば，今後の教育への強い関心と我が子への深い愛情を感じさせるものと思えます。

５　縦割り保育への肯定意見もいくつかみられました。『みんなでつくろう』は食育にも関連した内容ですが，異年齢集団内における人間関係のより密接な醸成にも大いに役立っており，今後も衛生面などに配慮しながらさらに充実させたいと思います。縦割り保育のあり方としてまだまだ改善の余地があると思いますので努力していきたいと感じます。

６　些細なことであっても園のやり方を評価していただいたとうれしく思ったことを紹介します。

1. 参観時の駐車場誘導が有難い。
2. 外遊びをたくさんしてくれて有難い。
3. 先生はいつでもきちんと相談にのってくれる。
4. 子どもがたくさんの歌を覚え，家で歌ってくれる。

これからまだまだ多くの行事等がありアンケート時期としてはやや早かったかもしれませんが，保護者の皆様のご意見を生かしながらより良い教育・保育を目指したいと思います。